

第6回西予市の財政に関する特別委員会会議録

1. 招 集 年 月 日 令和7年9月1日

1. 招 集 の 場 所 第1委員会室

1. 開 会 令和7年9月1日

午後3時58分

1. 散 会 令和7年9月1日

午後4時54分

1. 出 席 委 員

委員長 源 正樹

副委員長 中村 一雅

委員 大森 揚子

委員 信宮 徹也

委員 河野 清一

委員 小玉 忠重

委員 二宮 一朗

委員 森川 一義

1. 欠 席 委 員

なし

1. 出 席 説 明 員

政策企画部長 大野本 敦

政策推進課長 原井川英一

1. 出席議会事務局職員

書記 脇本 美登利

1. 会議に付した事件

西予市の財政に関する特別委員会の中間報
告について

その他

1. 会 議 の 経 過 別紙のとおり

開会 午後3時58分

○中村副委員長

これより第6回西予市の財政に関する特別委員会を開会いたします。

○源委員長

源委員長が挨拶を行う。

○中村副委員長

これよりの進行は委員長のほうで進めていただきます。よろしくお願ひします。

○源委員長

それでは次第(1)中間報告の前に、今挨拶で申し上げました有識者会議答申について、説明をいただきたらと思ひます。

○原井川政策推進課長

それでは有識者会議による、財政危機脱却プラン2025(案)の答申書の概要について説明をさせていただきます。先週金曜日8月29日に、西予市行財政改革有識者会議西村座長から、西予市財政危機脱却プラン2025(案)について、市長に答申をいただきましたので、その概要を説明いたします。

答申書につきましては、第1回、第2回有識者会議において、委員の皆様からいただいた御意見、御提言について諮問いたしました。財政危機脱却プランの三つの基本方針の考え方と方向性について及び財政危機脱却プランの進捗管理の手法と進め方について、またその前提条件として、財政危機の現状の課題についてという項目ごとにいただいた意見を集約、分類するとともに、はじめの中で、会議の経緯や答申のまとめ方、次に総論として、全体的な答申の考え方や方針、最後にまとめとして、改めて答申内容の重要な箇所をまとめるといふ構成になっております。有識者会議の委員の皆様からは、専門的かつ客観的な観点から様々な御意見をいただきましたが、西予市の財政状況を鑑みれば、財政危機脱却に向けたプランの基本方針、取組を粛々と進める必要がある。答申書の総論、冒頭に記載のあるとおり、プラン案の方針や具体的な取組を着実に進める必要がある、という答申内容であったと事務局では認識をさせていただきます。

また、答申の際、西村座長の挨拶の中で、西予市が持続可能な行政運営を実現するためには、市

民、職員、議会が一体感を持って改革に取り組むとともに、改革の先に希望を見いだすべく、市長自らが西予市のビジョン、将来像を提示し、丁寧な説明と共感の醸成を通じて、市民や関係機関等の信頼と協力のもと、先頭に立ってリードしていくことを強く提言いたします、と述べられましたが、この言葉が答申の内容と今後の進め方に関する有識者会議全員の考えを代弁いただいたのではないかと推察をさせていただいております。

以上、西予財政危機脱却プラン2025(案)答申書の概要の説明とさせていただきます。

○源委員長

今説明いただきましたことについて質疑がありましたらお願いいたします。

○二宮委員

この答申の中にある財政危機脱却プランにおいては、持続可能な行政運営に向けた基本方針とし最もリスクを抱える公共施設の在り方、云々の行があって、組織業務改革の三つに分けてそれぞれの考え方及び方向性を示したところですか、方向性というのは、もうこれだけの文書のことですか。ほかに何かこれ以外にこういうことをみたいなのはない、これが全てということでもいいんですかね。

○原井川政策推進課長

諮問した内容がこういった内容でございましたので、こういった内容で取りまとめをさせていただきましたが、方向性とかにつきましては、この内容ということで、御理解いただきたらと思ひます。

○小玉委員

それこそこの人たちの、私らが一つずつ行政いいうか、削減方法とかあれしたじゃない、それは説明した。

○原井川政策推進課長

議員の皆様にもお配りをさせてもらっておりますプラン、午前中に広報の関係でも御説明さしてもらったプランといふか企画書については、含めて資料としてお渡ししております。当然その会議に臨む前にお渡しをさせていただいて、確認した上で臨んでは来ていただいておりますが、説明につきましては、主なものだけの説明ということとさせていただきます。また、御意見をいただきたらと思ひます。

○小玉委員

そしたら対案みたいなのは出なかった。市が示した改革みたいなプランに対する対案というか、代替案というかそういうのは一切出なかった。

○原井川政策推進課長

基本的には案で示したプランについての考え方とか方向性を協議、検討、意見をいただくという場でしたので、対案という形ではございませんでしたが、答申書の中にも書いてあります通り、その手法であるとか進め方、あるいは例えば民間と連携したやり方とかということについて、具体的なことにつきましても、いろいろ御意見等はいただいたということになっておりますので、そういったことは答申書にもまとめさせてもらった上で、ぜひ活かして、プランも、また修正といいますか考え方を取り入れていきたいと考えております。

○源委員長

ほかにありましたらお願いします。

○河野委員

これを全部読んで理解するのはちょっと難しいんやけど、至るところに十分検討するとか、市民に説明するとかあるけど、議会に説明して市民に説明する、そういう期間が決まるとるやない。その中で、行政側で、そこら辺のことの十分な説明、検討はできるのか。

○大野本政策企画部長

確かに、時間をもっとかけるというやり方はあるとは思っておりますが、限られた期間の中で、それをもうやっていくしかないっていうふうにこちらとしては考えております。去年の秋頃からこのことについては内部で検討し始めてきておりますが、議員の皆様とか、市民の皆様にお知らせしてからの期間というのは、確かにちょっと短いかなと思いますが、実行していく所存で、これから臨んでいきたいと思っております。

○森川委員

西予市は、紙なんか1番安い金額だと思います。1番高い印刷なんかの金額をもう少し安い方法を考えていったらいいと思うんです。何でも小さいことの積み重ねやけん。今まで文化会館のトイレ工事、改修に2,000万円、三瓶の文化会館1,000万円、城川町でも500万円かな、かかってるんやけど、実際そういう金額がかかるわけがないんよ。だけん、業者の言いなりになってるか

1番高い金額で工事をやってるわけだと思います。

○原井川政策推進課長

ただいまの御質問というか御意見でございますが、直接的なその入札の担当ではないので、詳細は不明なところもあって申し訳ないんですけども、やはり所定の手続をとって、金額とか、工事内容によって、適正な入札が図られているとは思っておりますが、より安価な工事ができるようなことの工夫もできるのであればという、そこら辺も含めて検討が出来たらと思っておりますが、必要な手続というのは、やはり必要かなというふうに認識をさせていただいております。

○源委員長

ほかにありましたらお願いします。

○小玉委員

改革プランが出来て、今度市政懇談会を10月頃にするときは、それで市民から意見が出たら訂正するというか、柔軟に対応する考えはある。もうプランを立てたらもうそのまま押し切るみたいな感じ。

○大野本政策企画部長

ことにつきましては、今回の一般質問で大森議員からもいただいているんですけども、そこでもちょっと答弁させていただこうと思っておりますが、今言われたように、市政懇談会で説明する際には大分こちらの考えというか固まっている状況ではあります。ただ、市政懇談会を行うわけですので、その意見を集約させていただいて、来年度の予算査定始まりますけれども、その中で取り入れなければならないというふうに判断したものについては、取り入れていきたいと思っておりますが、どうしても、やはりこれはやっていかなければならないというふうに考えないと、市民の意見をずっと聞き放しでは改革は出来ませんので、そこら辺は強い姿勢を持ってやっていきたいというふうに思っております。

○源委員長

ほかにありましたらお願いします。

○二宮委員

市政懇談会は、今日市長が挨拶で言った各旧町単位で、やるということですかね。

○原井川政策推進課長

おっしゃるとおり旧町単位でやらせていただく予定としておりますが、昨年度の医療福祉の関係

でやらせていただいたような方式で、旧町あたり午前の部と午後の部で1日2回、地域づくり活動センターもウェブで結んで、そちらからも参加していただくというような方式でと考えております。

○二宮委員

期間が短いというのはもうそのとおりですけど、ここに書いてある、本当に組織の見直しや業務の効率化等を図る云々というそれぞれの方向性、今回示してもらった細かいところは、今から交渉いうかね、市民の人に説明して納得してもらおう。だから、今回の説明で終わりじゃなくて、そっからがスタートやと思うので、やっぱそのときに、この答申にあるような考え方を、きちっともう1回やっていただくといいんじゃないかなと思いますので、よろしくをお願いします。

○源委員長

ほかにありましたらお願いします。

○小玉委員

それこそ直接市民に痛みを押しつけるわけやけん、納得はしならんかもしれんけど、仕方ないねいうぐらいの説明をしてもらうてね、納得はせんけどしょうがないわいと言うてもらおうような説明をお願いしたいと思います。

○大野本政策企画部長

今言われるとおりでございます。職員もこれから大変厳しい立場になってくるというふうに思っています。我々も、厳しい意見をたくさんいただくこととは思っていますが、今小玉委員の言われたように、できるだけこう、最低でも仕方ないねと言ってもらえるような、説明を丁寧にしていきたいと考えております。

○源委員長

ほかにありましたらお願いします。

○信宮委員

我々の委員会で3日間説明を受けたんですけども、今度市民の説明会でですね、もうこれだけボリュームあるものを、どこまで説明するのかないことを思うんですけども、それと同時に、やはり説明会やったら紙ベースでの資料欲しいという市民が当然出てくるかと思うんですけども、どこまでのボリュームでやられるのか、その予定が分かったら教えていただきたいと。

○原井川政策推進課長

市長からも事前に資料等ができれば、広報配布

等と一緒に事前に配布した上で、当日市民が初めて聞くようなことがないような工夫はしてもらいたいということと言われておまして、それがどういった形で、プラン自体50ページを全戸に配ったとしても理解をされるのはなかなか難しいと思いますので、分かりやすくある程度集約した上で、事前に配布もさせてもらって、当日その上で説明をさしてもらってということになるかと思っておりますので、そういった工夫はぜひ積極的にしたいとは思っておりますので、また御意見、御提言ありましたらよろしくをお願いいたします。

○源委員長

ほかにありましたらお願いします。

○信宮委員

事前に配布するんであれば、ある程度のボリュームでも大丈夫だと思いますので、ぜひともやってもらいたいんですけども、今回の改革プランは、市民にいろんなものを我慢してねというふうなお願いだと思うんですけども、二宮委員も言われたんですけども、中に何か光が見えるようですね、これだけ無理を押しつけるんだから、けどこの分野に関しては力を入れて頑張っていく、例えば高校の魅力化については、いろんなことが削減される中で充実をされておって、高校生もよそからも増やして行って、市内の2校を盛り上げていこうというふうな考えがある、そういう点です、光が見える部分をですね、ぜひとも説明入れてもらって、もう全て我慢してください我慢してくださいではなくて、そういう部分も入れてもらったらなと思います。

○源委員長

できましたらそういったことをですね、中間報告のまとめのところに入れた上で本会議で報告をしたいと思っておりますので、できましたらそういう意見を積極的に賜ればと思います。お願いします。

ほかにありましたらお願いします。

○大森委員

この答申書の大きな2番なんですけど、財政危機の現状と課題について、ここはどのように取り組んでいかれますか。

○源委員長

それをプランとして説明をいただいたのが第4回委員会だったんで、既に説明をいただいております。

第4回の資料見てください。全て書いてあります。
ほかありましたらお願いします。

○二宮委員

10月の中旬に出される前に、もう1回我々が見れるのか、見れないのか。あと、答申いただいた人たちに見せるのか見せないのか。どうしてかというのですね、今まで、これ質問じゃないんでちょっと関係ないんだけど、やっぱ言葉遣いがね、何か行政の、市民からしたら、かちんと来るような言葉遣いというのがものすごく今までも多い。危機管理がちょっとどうなのって思うわけよ、そういう意味で。何かわざと怒らしてるとか、そういうところが余りにも今までにも何回もあるので、できたら見たいなという。チェックまではようせんかも知れませんが。そのスケジュールはどうなんですか。

○源委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午後4時19分)

○源委員長

再開を告げる。(再開 午後4時21分)

○原井川政策推進課長

答申であるとか中間報告をいただいた内容をまた精査させていただきながら、十分尊重させてもらいながら、最終的な決定ということになるうかと思いますが、日程につきましては、具体的にまたお示しをさせていただいたらと思います。

○源委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午後4時22分)

○源委員長

再開を告げる。(再開 午後4時26分)

そしたら、一応30分程度たちましたんで有識者会議の答申に対する質疑については以上としたいと思います。ありがとうございました。

暫時休憩を告げる。(休憩 午後4時26分)

○源委員長

再開を告げる。(再開 午後4時47分)

それでは次第(1)①西予市の財政に関する特別委員会の中間報告についてを議題といたします。正副委員長及び事務局のほうで作成しました中間報告の原案については、皆さんのほうに先週金曜日に配信した上で御覧のことと思います。内容については、これまでの第3回、4回、5回の委員会、主に質疑の内容、全て網羅する形で記載しております。しかしながら、ちょっと現在のとこ

ろで文字数もかなり多ございますので、この内容で皆さんに了解をいただければ、この内容もって中間報告のまず質疑の部分としたいと思います。

これについてよろしいでしょうか。

○大森委員

私はその基金が90億円あるので、、、。

○源委員長

私が提示した中間報告案の部分で、そのどこが違うか言ってください。まず中間報告を見ていただきました、今日以外。見てないですよ。もともと考えが違うということは分かりましたんで、それは一般質問されるということで、そちらでお願いしたいと思います。

内容について、第3回から第5回、質疑の内容も取上げております。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○源委員長

続きまして、赤字の部分1番最後から2ページ目になりますが見ていただいたらと思います。本日の第6回特別委員会ではまず冒頭、有識者会議の内容及び市長へ提出された答申について説明があり質疑応答を行った。質疑応答の内容については、これまで重なってる部分もありますので割愛をしたいと思います。これまで特別委員会の調査研究について協議を行い、これは9月5日ということでしたと思いますので、令和7年9月5日の本会議において中間報告を行うこととし、報告案について協議検討を行った。今後の方向性については、この丸のところはもういいかなというふうに思うんで、本特別委員会では西予市財政危機脱却プラン2025原案について説明を受け、質疑を行い特別委員会内で意見交換を行ってきた。今後プランを決定、進めるにあたっては、以下の点に十分留意をされたい。①今回の財政危機の要因及び行政、議会の責任について、これについて①で記載をしたいと思います。続きまして②これは今回の財政危機脱却プランをするにあたって、市民の皆様に理解していただくことが1番肝要になると思いますので、その説明について明確に分かりやすい内容で作成をしたいと思います。続きまして③職員人件費の抑制という説明があったかと思いますが。この内容については職員人件費抑制について、一定理解できるが当然、労働条件の不利益変更にあたりますので、その辺り十分加味し

た上で、総合的な判断を求めるといような内容にしたいと思います。

以上3点について、正副委員長及び事務局のほうで早急に取りまとめまして、委員の皆様にお示しをした上で5日に挑みたいと思います。内容等について、仕様とか言葉の使い方とかいろいろあると思うんですが、その辺りの作成については、正副委員長のほうにお任せいただいてもよろしいでしょうか。内容について事前に当然周知を行います。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○源委員長

そしたら取り急ぎ作成した上で、皆様に事務局を通じて配信をしたいと思います。よろしく願いいたします。

今日予定しておりました議題は以上になりますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○源委員長

もう1点すみません。その他の部分で、前回第5回委員会のところで私申し上げましたが、議会費の精査で議員報酬の削減、特別職の削減が出ておりますのでということを申しましたが、議会運営委員会の中でこの特別委員会で協議をしてくれということで決まりました。

もう1点、議会だよりの件がここに来たんで、ちょっとこれは御意見いただきたい。予算編成のことを考えると、できましたら今定例会中にある程度方向性を出さなきゃいけないではないかと思っております。

普通の常任委員会があり、決算特別委員会の各分科会もありで大変お忙しいと思うんですが、次回本会議が17日10時からあるんですが、今後、議会費とか議員報酬とかについてどういうふうにして進めていけばいいのかということを決めてからじゃないとなかなか進まないんで、構わなければ本会議は恐らくそんなに長くかからないと思いますので、本会議終了後に第7回特別委員会を開催した上で、今申し上げました議会費の精査、議員報酬について及び議会だよりについて協議いただきたいと。よろしく願います。

〔異議を唱える者なし〕

○源委員長

私のほうから以上です。案内については通知さ

せていただきます。

○河野委員

この委員長報告は明日ぐらいに配信してもらおう。

○源委員長

できたら明日の昼までには作りたいと思います。いろいろ意見いただいたんでまとまってませんが頑張ります。

以上で終わりたいと思います。

○中村副委員長

これもちまして第6回西予市の財政に関する特別委員会を散会といたします。

散会 午後4時54分

西予市議会委員会条例第30条第1項の規定によりここに署名する。

西予市の財政に関する特別委員会委員長

源 正樹